

大学の「今」をもっと知りたい!!

石巻専修大学

育友会広報誌

IKUUYU

[いくゆう]

vol. 30

2023.12

ISHINOMAKI SENSU UNIVERSITY

ようこそ石鳳祭へ!!



特集

コロナを乗り越え通常開催!

ようこそ石鳳祭へ!!

石鳳祭にお越しいただき、誠にありがとうございました。過去、台風での開催中止、コロナ禍での制限がある開催だった中、今回は制限もなく、たくさんのゲストの方やお客様を招いて石鳳祭を開催できたことを大変うれしく思います。

今回の石鳳祭テーマは「新時代」にしました。この「新時代」というテーマには二つの意味を込めました。一つ目はコロナ禍が明けていく兆しが見え、制限が無く石鳳祭を行えることを意味しています。今もなお予断を許さない状況下ではありますが、多くの方々を招き入れ開催出来たことは大変うれしく思います。学生の中には高校生時代、文化祭や修学旅行が無くなった人もいます。一般の方々はもちろん、青春の一部を失った人たちに、より楽しんでいただければと思ったからです。

二つ目は学生が主体となり多くの学生に参加してもらい、学生が創り上げていく風潮、時代を「新時代」と捉えテーマ設定いたしました。模擬店の参加やステージ企画の参加など多くの学生に呼びかけました。その中で今年から活動が活発になったダンス愛好会のダンスがオープニングセレモニーの後に行われ賑わいました。

石鳳祭開催にあたり、ご支援、ご協力頂きました全ての方々に感謝申し上げます。



石鳳祭実行委員会
委員長

澤田石 飛来



オープニング
セレモニー
散餅

コロナを乗り越え通常開催!

秋晴れに恵まれた10月7、8日、2023石鳳祭が開催されました。豪華ゲストを招いてのお笑いライブやアイドルステージに加え、メインステージでは実行委員会考案のクイズやビンゴ大会、音楽系サークルや外部団体によるライブが行われました。教室では理工学部の研究を体験できる「知の玉手箱」、サイクリング愛好会によるバーチャルライドなど多様な催しが実施されました。ゼミや研究室による模擬店、石巻の名産品を味わえる地場産品フェアも盛況で、来場した学生や地域住民らに本学の熱気を体感してもらうことができました。



ステージ企画
いろいろ!!



模擬店なども
多数出展!!

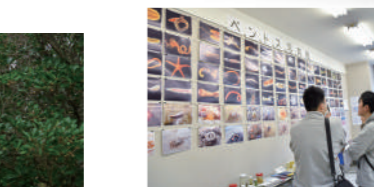


ようこそ!
石鳳祭へ

餅つき&
餅の振る舞い



美味しいお餅
召し上がれ!



サークルや
ゼミによる色々な
企画展示!



理工学部

自然科学や先端技術は人類の英知のたまもの。過去から未来へ続くこの道を歩き出そう。

理工学部紹介



生物科学科

特徴

- 海から山までフィールドに恵まれた石巻で実践的に学ぶ
- 分子から環境までサイエンスを総合的に学ぶ
- バイオサイエンスの学びを通して思考力と対話力を養う



■海洋生物・環境コース

多様な授業や実験を通して海洋生物と環境に関する幅広い知識を身につけます。生き物や自然に直接触れながら、実践的に学べます。

■動物・植物コース

豊かなフィールドで生物観察や行動調査などの実習を行い、動物や植物の生態・生理・発生・分類・進化について専門知識を深めます。

■微生物・生命分子コース

様々な生命現象を分子レベルから探究することにより生命への理解を深め、授業・実験・実習を通して微生物と生命分子を探る力を総合的に高めています。

■自然科学コース

分野を問わず幅広く自然科学を学びたい人、中学・高校理科の教員をめざしたい人に適したコースです。興味に応じた専門科目の履修が可能です。

情報電子工学科

特徴

- 自ら手を動かす実践的教育
- 社会のニーズに応える2つのコースを設定
- 多彩な機能を持つ本格的な設備



■情報通信コース

人工知能、IoT、ロボットなどの先進的デジタル技術を駆使して、持続可能で豊かな社会の実現に積極的に貢献できる人材の育成をめざします。

■電気電子コース

半導体デバイス、集積回路に関する実験、プログラミングを駆使したシミュレーションなどを通して、次代を担う電気電子工学エンジニアの育成をめざします。

機械工学科

特徴

- 2つのコース設定で将来の進路を明確にしながら学ぶ
- 少人数による体験を多く取り入れた学びの環境
- 工学系学科横断的教育プログラム



■機械創造コース

ロボットやエネルギー関連機器などの「ものづくり」に関わる専門知識と技術を習得し、現在の機械産業の課題解決に活用できる創造的な能力を育てています。

■自動車コース

自動車をベースとして、幅広い専門知識と技術を習得しています。東北の大学で唯一、ガソリンとディーゼル両方の2級自動車整備士の受験資格が得られます。

食環境学科

特徴

- 理学・工学の視点から食と自然環境の問題にアプローチ
- キーワードは「食」「自然と環境」「人の役に立つ化学」
- 様々な分野で活躍できる技術者・管理者を養成



■食品分析コース

食の安全の基本となる食品成分分析や放射線測定などの技術者を育成します。

■食品工学コース

食品のおいしさや機能性をカガクし、新しい食品を創造する技術を持った食品工学技術者を育成します。

■水環境コース

森・川・海自然环境調査や水質の浄化、「自然をまもる」技術を身につけた環境管理者を育成します。

※令和4年4月から学生募集を停止。(理工学部 定員変更)

経営学部

社会人としてよく生きるために「経営」を学ぶ。

経営学部紹介



経営学科

特徴

- 経営をベースにした専門分野の学びを深める
- 「理論」と「実践」の双方を重視
- 「学び方を学ぶ」目標に向けて自ら学び続けられる力を養う



■ビジネスマネジメントモデル

事業を成功へと導くために、ヒト・モノ・カネ・情報を有効に活用することができるゼネラリストをめざします。

■企業会計モデル

企業経営における利益測定、企業経営状況の説明、納税額の計算という社会的責任を果たすことができるスペシャリストをめざします。

■地域観光・マーケティングモデル

地域ブランドの創造、魅力あるまちづくり、観光を活用した地域活性化に資する人材をめざします。

情報マネジメント学科

特徴

- ビジネス・データ分析・コンピュータに関する科目をバランスよく学ぶ
- デジタルの力でより良い社会を創るための素養が身につく
- 経営理論やデータを活用し、相手を説得する力が身につく



■ビジネスデータモデル

データに基づいたビジネスを展開するための方法を理論と実践から学んでいます。

■ビジネスデザインモデル

ICTを活用した新しいビジネスシステムを構築するための方法を理論と実践から学びます。

(就職先例) 高等学校教員(情報)・ICT産業・製造業・卸売・小売業・金融業・建設業・コンサルティング業・NPO・NGO団体・ほか

※新学科の為卒業生実績なし

人間学部

人間存在とその歴史や文化・教育、明日へのカギを解き明かす。

人間学部紹介



人間文化学科

特徴

- 2つのコースで体系的に人間文化を学ぶ
- 課題解決型の科目を数多く配置
- 中・高教諭の一種免許、学芸員資格も取得可能



■異文化理解・芸術文芸コース

異文化に関する多角的な知識と諸言語の運用能力、芸術一般に関する幅広い知識を身につけ、文化に関する情報を収集・分析・発信し、地域文化の発展・振興に貢献します。

■地域社会支援コース

地域社会に焦点を当て、地域における社会教育や産業、制作について学び、地域社会の現状と課題について多角的に理解し解決に向けた提案を行うことができる力を養います。

人間教育学科

特徴

- 地域社会に貢献できる人材を育成
- 保育所・幼稚園・小学校に拠点校を設置
- 保育や教育分野の資格取得が可能



■保育所・幼稚園モデル

保育・教育の目的や内容・方法、乳幼児の心理や発達などについて専門的に学び、保育や幼児教育の現場で必要とされる実践技術を習得します。

■小学校モデル

学校教育の目的、内容・方法、幼児・児童の心理や発達、教育的支援の方法などについての専門知識・技能を学び、教育実践を通して教育活動に必要な実践技術を習得します。



学生生活

「第100回石巻川開き祭り」に参加しました

石巻市最大規模のイベントである「石巻川開き祭り」が、8月4日～6日に開催され、大学の学生達が参加しました。今年度で記念すべき第100回を迎えた「石巻川開き祭り」は、震災後、初めて3日間の開催となり、水上競技や陸上での祭典、恒例の花火大会などが行われ大勢の人でにぎわいました。本学からは、学生及び教職員が【孫兵衛船競漕】【縄張神社奉納大縄引き大会】【花火の屑拾いボランティア】【流燈作成ボランティア】【大漁踊り】に延べ200人で参加しました。

【孫兵衛船競漕】

予選Hブロック3艘中2位となり、2回戦へ進出も惜しくも敗戦。参加した学生からは、「負けて悔しいので来年も参加したい」との声がありました。

【縄張神社奉納大縄引き大会】

本学硬式野球部で構成された大縄引きチームは、3連覇を目指し順調に1回戦を突破しましたが、2回戦東北電力に惜しくも敗れました。

【花火の屑拾いボランティア】

花火が打ち上げられた翌日早朝に、多くの学生や教職員が集まり、地域の方々と共に花火屑やゴミ拾いをおこないました。

【流燈作成ボランティア】

8月4日、住吉公園にて学生、教職員65名で参加した流燈ボランティアでは、炎天下の中、黙々と作業に打ち込みました。出来上がった燈籠を一つ一つ丁寧に扱い、船まで運びました。ボランティアには他団体も参加し併せて4,000個の燈籠が川に流され、幻想的な光を楽しみました。

【大漁踊り】

8月6日、祭りのフィナーレを飾る大漁踊りでは、学生がおそろいの浴衣を身にまとい、メインの通りをねり歩きました。本学の参加は、2019年以來の参加となり、若々しく楽しそうに舞う学生に沿道からは多くの皆様から声援をいただき、笑顔でゴールしました。

人間学部 人間教育学科

お兄さん・お姉さんと一緒に遊ぼう
in 石巻専修大学

7月31日、5号館の保育実習室とプレイルームで実施されました。参加したのは、本学人間学部人間教育学科3年次生と、東松島ママサロンさんに通う親子6組です。はじめは学生も子どもたちも少し緊張した様子でしたが、手遊びや紙芝居を行ううちに少しずつ笑顔が見られるようになりました。お母さんたちが、高橋有香里先生が行う絵本講話を受講している間、子どもたちは学生と一緒に絵本や折り紙、ブロックなどで楽しく遊びながら、交流を深めていました。学生からは「少しずつお話ししてくれるようになって、心を開いてくれているのが分かってうれしい。」という声も聞かれました。



社会貢献・連携

客船「パシフィックワールド」歓迎イベントに
本学学生がボランティアとして参加しました

7月30日、クルーズ客船「パシフィックワールド号」の歓迎イベントが仙台塩釜港石巻港区雲雀野中央埠頭で開催され、本学外国人留學生8名、日本人學生4名がボランティアとして参加しました。当日は、雲雀野中央埠頭、石巻駅前インフォメーション、いしのまき元気いちば前インフォメーションの3か所に分かれ、石巻市内を観光するパシフィックワールド号の乗客に対して外国語での案内誘導や物産品販売補助等を行いました。學生たちは、中国語・英語・日本語を交えながら、乗客の方々とコミュニケーションを図っていました。



社会貢献・連携

いしのまき祭りを開催しました

11月19日、東京都千代田区の専修大学神田キャンパスにおいて「いしのまき祭り」を開催しました。「いしのまき祭り」は、石巻専修大学と専修大学の學生が協同し、首都圏で宮城県石巻市の魅力を発信するイベントとして企画され、本学と三者連携協定を締結している石巻市やソフトバンク株式会社などにご協力いただき実施したものです。当日は、学生企画の石巻おすすめスポット紹介や石巻焼きそば・かき汁のふるまいをはじめ、特産品販売、石巻川開き祭りで使用した七夕飾り展示など、石巻の魅力を凝縮した企画を実施し、多くのお客さまにご来場いただきました。

参加した学生の声

伊藤若菜さん(人間学部人間文化学科2年次 宮城県 多賀城高校出身) 伊藤野花さん(人間学部人間教育学科1年次 宮城県 塩釜高校出身)

私自身は石巻出身ではないため、知らないことも多く、地域の魅力を発見しようと思いこの企画に参加しました。実際に震災遺構や観光地を見て回り、いろいろな面を知ることができました。オンラインで専大生と一緒に作業するのは楽しかったです。展示では「猫の島 田代島紹介」を担当しました。石巻の魅力は自然が豊かなこと。キャンパスも緑に囲まれ、時間がゆったりと流れています。一方で震災のことは忘れてはいけません。私たちが若い世代が語りついでいかなければと強く思いました。

経営学部 情報マネジメント学科

浅沼ゼミが道の駅「上品の郷」にて
石商マーケットを開催

11月15日、16日に開かれた「石商マーケット」に参加しました。同マーケットは、石巻商業高校の生徒が商品の選定や仕入れ、商業施設などへの出店から接客までを行う販売実習です。浅沼ゼミでは授業で学んだ専門知識を生かし、提案やアドバイスを行うなど、広報担当として2021年度から協同しています。開催までには高校生とのワークショップを複数回開き、広報戦略を練ったり、ホームページを作成するなど準備してきました。ホームページは浅沼ゼミ生と石巻商業高校の生徒で「IT事業部」を立ち上げ、Webページをゼロから作成、開設しました。作成にあたっては、地元IT企業の株式会社イトナブ様に技術指導を頂きました。

学生生活

硬式野球部、南東北大学リーグ
秋季新人戦優勝!

本学硬式野球部は、10月7日、8日に福島県いわきグリーンスタジアムでおこなわれた2023年度秋季新人戦で2021年度秋季以来の優勝を成し遂げました。5月に開催された春季新人戦においては1回戦で敗退した悔しさをバネに、練習に励み、見事2年ぶりの優勝を勝ち取りました。新人戦で主将を務めた佐藤啓斗さん(経営学部経営学科2年次・東北生活文化大学高校出身)は、今回優勝という結果を残すことができ本当に



うれしさと、自信がつかしました。この結果を来春のリーグ戦優勝へ繋げられるように頑張っていきたいと考えています。沢山の皆様からの応援に心より感謝いたしますと力強く話してくれました。

支援 SUPPORT

「顔の見える支援」を基本に、学生1人

ひとりに寄り添って、きめ細かくサポートします。

石巻専修大学のキャリア支援の強み

■ キャリアコンサルタントによる「顔の見える支援」

キャリアコンサルタントを配置し、教職員が連携して「顔の見える支援」に力を入れています。

■ 対面、またはオンラインでの相談（事前予約要）

インターンシップ、就職活動など進路に関する相談は、学内での対面、またはオンラインで相談対応しています。長期休暇中などで来学できない場合でも、履歴書添削相談やオンライン模擬面接が可能です。

■ 専修大学の動画コンテンツの活用

プレゼンテーションの基礎からエントリーシート、面接対策など就職活動と卒業後のマネープランまで、幅広く系統だった質の高い動画コンテンツがあります。いつでも、どこでも視聴でき、強化したい点を繰り返し確認できます。

■ 各種資格取得をサポート

在学中に指定された授業科目を履修して学ぶことによって、多様な免許や資格を取得することができます。授業だけでなく課外の資格講座によるサポートもあるため集中して取り組めます。職業人として必要な技能の習得を目的に、会計士講座、日商簿記講座、公務員試験受験対策講座、パソコンスキル（Microsoft Office Specialist、IT パスポート、基本情報処理技術者、3次元CAD）講座、TOEIC IP試験など、幅広い分野の資格取得を支援しています。また、高度資格取得者には、奨学金を給付する「キャリア支援奨学生」制度を設けています。



■ 合同企業説明会

就職活動が解禁される3月、オンラインによる合同企業説明会が開催され約200社が参加します。学生は多くの企業と出会い、効率よく企業や仕事内容などの情報を得て、就職活動のはずみにしています。また、(株)マイナビによる仙台での説明会では、本学学生のために直行バス（石巻～仙台）の運行もあり学生が参加しやすくなっています。

■ 就職支援システム S-net

就職活動を支援する求人検索システムS-netを設置。リアルタイムで求人データを検索できます。

■ 学外機関連携

宮城県東部地方振興事務所と連携した「石巻圏域企業研究セミナー」、"地元就職応援プロジェクト「伴走型支援」"、石巻商工会議所と連携した「インターンシップ事業」、ハローワークアドバイザーによる求人紹介と就職相談などを行い、石巻圏域への就職を支援しています。この他、東北各県の就職支援団体と連携して情報発信と個別相談対応を行い、地元Uターンへの就職支援を行っています。



学外との連携による就職支援3つのポイント

1 専修大学主催セミナーへの参加

専修大学主催の「就職活動支援各セミナー」に専修大学の学生とともに参加します。SPI オンライン準備講座、SPIオンライン模擬試験など受講が可能です。

2 専修大学キャリア形成支援課の利用

首都圏で就職活動を行う拠点として、専修大学神田校舎、生田校舎のキャリア形成支援課を利用することができます。

3 ハローワークアドバイザーによる求人紹介とアドバイス

ハローワーク担当者が来学して「新卒応援ハローワーク相談コーナー」を開設しています。相談はもちろん、地元の求人情報の入手も可能です。

内定者 VOICE

内定者の話を直接聞けるチャンス!

本学では、4年次の内定者が3年次生に直接アドバイスする機会として、就職活動体験談を開催しています。

内定が決まった先輩たちは、どのように就職活動を行ってきたのか、より身近な視点で体験談が聞けるため、3年次生からは「とても参考になった」「自分も頑張ろうという気になった」などといった声が聞かれていました。

※令和5年度は、オンラインで実施

就職活動体験談

株式会社阿部蒲鉾店に内定

企業説明会に参加した際に、社員の方々の仲が良い雰囲気を感じ株式会社阿部蒲鉾店に入社を決めました。就職活動では、取り繕わず自分らしくいることを意識したことで良い結果になったと感じています。就職活動は終わりがないように感じて不安でいっぱいだと思いますが、自分が納得できる結果が得られるように頑張ってください。



理工学部 福島県 福島西高校出身
食環境学科 松本 望 さん

目立建機株式会社に内定

石巻専修大学へ入学したのは機械工学系の学部にとって大学受験をしていたからでした。ここでの学びを入社後に活かして早く活躍したいと思います。就職活動においては色々な企業を実際に見ることで選択肢を増やしたり、悩むことが良いと感じますので是非早めに行動してみてください!



理工学部 宮城県 東北学院高校出身
機械工学科 関内 虎佑 さん

株式会社オークラニッコーホテルマネジメントに内定

私は自分が進みたい方向性が決まってから主にインターネットで情報を集め、その後は企業説明会などに積極的に参加して自分の目で確認するようにしていました。ホテル業界に絞って就職活動をしていたので気になるホテルには実際に宿泊するなど納得できるまで情報を集めることに努力しました。第一志望の企業から内定をいただいた瞬間はとても嬉しく、今では早く仕事ができる日を楽しみにしています。



経営学部 岩手県 専修大学北上高校出身
経営学科 松本 悠乃 さん

弓ヶ浜水産株式会社に内定

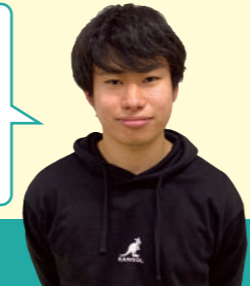
就職活動を始める前から養殖業に携わりたいと考えており、それが実現できると感じ弓ヶ浜水産株式会社への入社を決めました。入社したらこれまで以上に勉強に励み、貢献できるように今から準備をしていきたいと考えています。在学生のみなさん、目標に向かって早めの行動、自分から動き情報を集めることが大切なので頑張ってください!



理工学部 宮城県 多賀城高校出身
生物科学科 菊地 琢夢 さん

東北電力株式会社に内定

私は地元で好きな分野を学べることに魅力を感じ石巻専修大学に入学しました。教員に優しい方が多く、基礎から応用まで丁寧に教えていただけるところがこの大学の良いところだと感じています。就職活動をしているみなさん、絶対に途中で諦めないでください。高校・大学受験を頑張れなかった方も就職活動さえ上手にいけばすべて覆ります。全身全霊をかけて頑張ってください。



理工学部 宮城県 石巻西高校出身
情報電子工学科 及川 凌我 さん

いしのまき農業協同組合に内定

石巻で働きたい思いから地元唯一の石巻専修大学に入学を決めました。いざ就職活動を始めると選択肢があまりにも多いので、自分がしたいことの整理に時間がかかったことが一番大変でした。焦りが大きなストレスになり就職活動についてのミスの増加に繋がってしまうので時間にゆとりをもって内定獲得に向けて頑張ってください。



人間学部 宮城県 石巻高校出身
人間文化学科 渋谷 拓人 さん

公務員(小学校教諭)に内定

石巻専修大学の先生方のサポートが手厚く、泊りがけの勉強会を開催していただき、友人たちと教員採用試験の対策や面接の練習が内定に大きく影響したと感じています。就職活動は先が見えずに大変だと思いましたが、一人で抱え込まずに友達や先生に頼ってみてください!



人間学部 宮城県 多賀城高校出身
人間教育学科 宮口 大空 さん

活動 ACTIVITY

育友会活動報告 全国の育友会支部長 からのメッセージ

北海道・青森県支部

北海道、青森県支部長の杉沢福巳です。今年度はコロナ禍が解消され、支部懇談会では食事をしながら懇談することができました。また、就職活動についての講話として「大学生を取り巻く就職環境と就活における親の関わり方」を行い好評でした。大学祭では昨年に引き続き餅つき体験・餅のお振舞いを盛大に実施し、来場者の皆さまの笑顔を見ることができました。次年度も引き続き、多くの参加者にお越し頂き懇談や情報交換が出来ればと思っています。



北海道・青森県支部長
杉沢 福巳

秋田県支部

秋田県支部長の芦原です。今年度はコロナが季節性インフルエンザと同じ扱いになったことにより、支部懇談会では食事をしながら楽しく懇談ができました。大学の近況や、成績表の見方、就職活動の仕方など、大学から教職員の方にお越しになり様々な情報を得られ、大変有意義な会となりました。次年度も同時期に開催いたしますので、気軽にご参加して頂き、是非懇親を深めて頂ければ幸いです。皆様の参加を心よりお待ちしております。



秋田県支部長
芦原 清巳

宮城県支部

宮城県支部長の遠藤です。今年度はコロナ禍が解消され、石巻会場と仙台会場では食事をしながらの懇談をすることができました。石巻会場・仙台会場とも、特別企画「卒業生からのメッセージ」として卒業生を招いた講話を行い大変好評でした。お越し頂きました会員の皆様ありがとうございます。次年度も引き続き実施していきますので、多くの方がご参加いただけるよう、お待ちしております。



宮城県支部長
遠藤 宏昭

岩手県支部

岩手県支部長を務めさせていただきました小原美智子です。今年度は新型コロナの位置付が「第5類」と移行されましたので岩手での支部懇談会は北上会場にて通常に開催することができました。お越し下さいました会員の皆さま、ありがとうございました。今回の懇談会では昼食をとりながらアットホームな雰囲気できれいに進めることができました。話し合いでは、学生の日頃の生活や就職活動の取り組み方、そして親としての関わり方等、大変意義のある情報を交わすことができましたし、日頃接する機会の少ない大学の先生方と直接お話ができるという貴重な場でもありました。先生方の温かいご支援を賜り、大変充実した会となりましたこと、心から御礼申し上げます。



岩手県支部長
小原 美智子

また、この会を準備していただきました職員の皆さまのご配慮にも、この場をお借りして感謝申し上げます。岩手県支部の懇談会は年々、参加者が増え続けております。どうぞこれからも子供達の未来の為、大学の益々の発展の為に多くの会員の皆さまの御参加をお願い申し上げます。

山形県支部

山形支部長を務めさせていただいております佐藤直子です。今年度はコロナ禍が解消され、支部懇談会では食事をしながらの懇談ができました。ご多忙の中ご参加くださった会員の皆様、ありがとうございました。そして今年も石巻祭におモチの振る舞いで参加させていただきました。学生さん達の生き生きと活動をされている空間いとタイムトリップし若返った気持ちになりました。家では見られない少し成長した我が子の姿を見られる良い機会でもありました。在学中にこのような機会を頂けたことに感謝しております。学生さん達がイキイキと活動できるのも、いつも温かく子供達を支えてくださる教職員の皆様のお陰だと深く感じております。次年度の育友会活動も、意見交換をしながら盛り上げていけるよう、多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



山形県支部長
佐藤 直子

福島県支部

福島県支部長を務めさせていただきました石田絢子です。今年度はコロナ禍が解消され、食事をしながらの支部懇談会を開催することができました。お越し頂きました会員の皆様ありがとうございます。大学祭を始めとして、学生たちはかけがえない大学生活を有意義なものにしようと、一人ひとり自分にできることに精一杯前向きに取り組んでいると思います。教職員の皆様には学生・保護者への温かいご支援とご配慮に心より感謝申し上げます。来年度の支部懇談会でも、たくさんの会員の方とお会いできることを楽しみにしております。



福島県支部長
石田 絢子

関東支部

今年度から関東支部長を務めさせていただきます新倉修吾です。専修大学神田校舎で開催した支部懇談会にお越しの会員の皆様ありがとうございました。首都圏での就職活動の仕方等について、お伝えすることができたと感じています。次年度も引き続き実施していきますので、多くの方が参加いただけるよう、お待ちしております。



関東支部長
新倉 修吾

九州・沖縄支部

今年度から九州・沖縄支部長を務めさせていただきます荒牧幸成です。コロナ禍以前には専修大学熊本玉名高校で支部懇談会を行ってまいりました。九州でぜひ支部懇談会を開催してほしいとのご要望があれば再開することができます。九州からは遠方を感じる大学での大学生活ではございますが大学関係者の方々の東北ならではの暖かさに日頃より感謝致しております。開催される際にはより多くの会員の方とお会いできることを願っております。



九州・沖縄支部長
荒牧 幸成

石巻専修大学育友会 主任からのメッセージ Message

会員相互の交流の輪を広げる育友会



石巻専修大学育友会 主任
人間学部 特任教授
横江 信一

新型コロナの感染症法上の位置づけが「5類」に移行したことを受け、年度当初の計画した事業については、滞りなく行うことができました。これも偏に、遠藤会長をはじめ育友会役員並びに会員皆様のご理解とご協力のお陰であり、大学関係者一同衷心よりお礼申し上げます。

さて、育友会は、学生諸君のご家族の皆様と大学との間で緊密に連携を持つことにより学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織であり、会員相互の交流の輪を広げ、本学の魅力を発信する絶好の機会でもあります。

今年度は、東北6県と東京で「支部懇談会」を開催し、昨年度を上回る参加人数であり大変喜ばしく思います。初めて参加された会員も多く、参加された方の感想として「他の参加者の方と情報交換ができた」「子供の学修の様子を知ることができ、また、先生と話す機会を得て良かった」「大学生活や就職に関してのサポート体制を知ることができた」といった感想が寄せられました。今後も、学生一人一人にきめ細やかな対応をしている一端をお伝えするとともに、会員同士の懇親を深める架け橋になればと考えます。

今年度の10月の大学祭（石巻祭）では、昨年度に引き続き、育友会活動を広く多くの皆様にご覧いただくとともに、育友会会員同士の交流を促すことを目的とした育友会企画「餅つき体験と餅の振る舞い」を実施することができました。特に、来場者に餅つき体験を楽しんでいただいた後、つくたてのお餅を来場者に振る舞い、学生だけでなく小さなお子さん連れのご家族も餅つきに参加し、大変盛り上がりしました。

はじめにも述べましたように、育友会は「学生諸君の学生生活と社会への旅立ちを支援するための組織」です。それには、学生諸君の大学での勉学、課外活動、就職活動など石巻での生活の様子をできるだけ多くご家族の皆様にお伝えすることが重要な役割の一つだと考えています。さらに、育友会会員相互の情報交換と交流の場を提供していくことも大切なことだと考えております。

大学のホームページ内にある育友会ページは、大学のホームページのトップ画面の上部にある「保証人」をクリックすると「育友会」があり、それをクリックすると育友会のページを開くことができます。今後も、この育友会のページをどんどん活用して、先に述べたように石巻での学生諸君の生活の様子をご家族の皆様にご覧いただくべく早くして多くお伝えしたいと思っています。

どうぞ、ご子女の勉学や大学生活についていつでもスマホなどで気軽にご相談ください（ikuyu@isenshu-u.ac.jp）。そうした不安や疑問に育友会の役員と教職員が協力してご返事させていただきます。そして、本学に対する忌憚のないご提言やご意見もお聞かせくださいますようお願い申し上げます。



支部懇談会青森会場



支部懇談会石巻会場



支部懇談会福島会場



支部懇談会北上会場

ごあいさつ



石巻専修大学育友会
会長 遠藤 宏昭

会員の皆様には、育友会に対して日頃よりご支援ご協力を賜り、心から御礼申し上げます。
育友会は「大学と学生の家庭との連絡を密にし、大学の発展・向上に寄与し、会員相互の親睦を図る」という役割を担うため、保護者の皆さまの要請を受けて平成3年（1991年）に発足いたしました。そして30数年余り、ご子女の成長を見守りながら様々な活動を事業計画に基づき実施して参りました。

支部懇談会につきましては、東北6県（宮城県は石巻と仙台の2会場）と東京都（専修大学）の8会場で開催しました。参加者は昨年の1.5倍、延べ117名でございました。支部懇談では、大学から教職員を派遣頂き、大学の現状、学業及び就職等について説明を頂きました。また食事をしながら懇談できたことは大変有意義な機会でありました。個別相談では、学業・就職活動・資格取得そして学生生活のことについて質問を頂き、学科所属の先生方に丁寧にお答えいただきました。会員の皆さまにおかれましては、ご子女が大学生活という生活環境に慣れながらも、学修面や生活面に支障なく取組んでいるか戸惑いや不安を感じることもお有りかと存じます。また上級生の会員の皆さまは、厳しい就職戦線の真只中におられ、親としてどのように立ち居振る舞えばよいか悩むこともあろうかと思えます。そうした戸惑いや不安を解消いただけたと存じます。

今年度育友会では、昨年に引き続き育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を図ることを目的に「餅つき体験と餅の振る舞い」を大学祭で実施しました。餅つき体験では子供達が楽しそうに杵を振り下ろし、お母さま方はその姿を写真に撮っているのが印象的でした。約600個用意した、あんこ餅ときなこ餅は集まった方に振る舞うことができました。

育友会では毎年度、学生への助成として就職活動用具の提供や、サークル活動への支援を行っております。またこの他に、大学の防災・防犯面の支援や学生に有益な空間作りのためベンチの寄贈も行っております。

これからもご子女が、皆様方のご理解、励ましの中で大きく健全に大学を巣立っていくために育友会が多くの実績を積み重ね、役割を果たしてまいりたいと考えておりますので、会員皆様のご支援ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

令和4年度 事業報告について

新型コロナウイルス感染症への必要な対応を講じながら、令和4年度の事業は以下のとおりとしました。

1 育友会員との連絡強化と育友会広報活動

- (1) 会員ご子女の『修学状況通知書(成績)』、『履修届(写)』を送付した。
- (2) 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するため、会報『いくゆう』(第29号)を発行した。
- (3) 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞『ニュース専修』を毎月送付した。(年11回)
- (4) 『育友会ホームページ』にて各種行事等の案内や情報提供を継続して行った。

2 会議の開催

- 育友会の円滑な運営を行うため次の会議を開催した。
- (1) 定期総会 令和4年7月2日(土)
- (2) 役員・幹事・支部長会 令和4年10月 9日(日)【石巻祭】
令和5年 3月20日(月)【学位記授与式】

3 育友会支部懇談会の開催

支部懇談会を8会場で開催した。

開催日	開催地	会場
7月 2日(土)	宮 城(石巻)	石巻専修大学
7月16日(土)	岩 手(北上)	プランニューキタカミ
7月17日(日)	青 森	ホテル JAL シティ青森
8月27日(土)	宮 城(仙台)	TKP ガーデンシティ仙台
8月28日(日)	秋 田	ANA クラウンプラザホテル秋田
9月 3日(土)	山 形	山形国際ホテル
9月10日(土)	福 島	ホテル福島グリーンパレス
9月10日(土)	東 京	専修大学神田校舎

4 大学祭への参加

育友会の企画として大学祭に参加した。大学祭への参加は、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を促すことを目的に試行的に実施した。企画の実施が可能な場合『餅つき体験と餅の振る舞い』

5 学生への助成

3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズを配付した。

6 学生に対する援助

サークル活動に対する援助を硬式野球部及び石巻祭実行委員会等、計9団体に行った。

7 卒業記念行事

大学及び同窓会と提携して、令和5年3月20日(月)学位記授与式挙行後に実施を予定していた「卒業を祝う会」は中止とした。

8 福利厚生費の活用

学生の安全と安心につながるための、防災用品および備蓄品等を購入するための経費として大学へ寄付した。大学では年度別の備蓄品計画に基づき、今年度は「アルファ米と保存水」を購入した。

9 活動強化事項

- (1) 支部懇談会への参加者を増加させる取り組みの一つとして、支部懇談会参加者に記念品「ミッキーマウスクリアファイル」を配った。また、全学生には記念品「革製チェーンパスケース」を配った。
- (2) 支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費の補助を行うとしていたが、要望等がなかったため支出しなかった。
- (3) 参加者の多い支部懇談仙台会場では、地元で活躍する卒業生を招き、「卒業生からのメッセージ」として講話を行った。
- (4) 支部懇談会への参加者を増やすため、7月2日(土)支部懇談会終了後に、昨年12月に第9代学校法人専修大学総長に就任された日高義博先生による講演会「社会の中であって社会に立つことの意義」の開催を協力した。

以上

令和4年度 育友会決算報告書

[自]令和4年4月1日 [至]令和5年3月31日

● 収入の部

単位：円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減(A)-(B)	備 考
①会費	14,040,000	13,870,000	170,000	会費@10,000×1,387名
②雑収入	1,000	80,790	△79,790	・預金利子・令和3年度硬式テニス部奨励金未使用戻入(80,648円)
収入計	14,041,000	13,950,790	90,210	
前年度繰越金	11,959,859	11,959,859	0	
合 計	26,000,859	25,910,649	90,210	

● 支出の部

単位：円

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増・減(A)-(B)	備 考
①会議費	113,000	27,260	85,740	
1 総会費	50,000	0	50,000	定期総会開催費
2 役員会費	60,000	27,260	32,740	・常任役員・幹事・支部長会 開催経費
3 その他の会合費	3,000	0	3,000	大学関係者との会合開催経費
②通信費	1,900,000	1,577,667	322,333	
1 会報発送費	100,000	101,807	△1,807	『いくゆう』 発送費
2 ニュース専修発送費	1,100,000	1,109,845	△9,845	発送費(年11回)
3 その他の通信費	700,000	366,015	333,985	・育友会案内発送費、学業成績発送費、事務連絡発送費 ・はがき代、切手代
③事務費	1,860,000	813,120	1,046,880	
1 旅費交通費	1,010,000	299,663	710,337	常任役員 ・ 幹事 ・ 支部長会の旅費交通費
2 消耗品費	500,000	233,502	266,498	・事務用消耗品 ・ 公衆衛生用消耗品 ・ 大学祭参加のための消耗品
3 事務委託費	350,000	279,955	70,045	・ニュース専修発送手数料 ・『いくゆう』発送委託料
④印刷費	900,000	565,125	334,875	
⑤支部懇談会費	2,800,000	2,128,921	671,079	・支部懇談会等資料印刷 ・ 封筒印刷 ・『いくゆう』制作・印刷
⑥支部交付金	140,000	0	140,000	・会場借料、懇談会食代、担当者旅費交通費 ・ 外部講師講演代、卒業生等の講話謝礼金 ・ 支部懇談会打合せ食代
⑦学生助成金	300,000	344,440	△44,440	就職活動用グッズ等購入代
⑧学生援助費	5,000,000	3,745,000	1,255,000	サークル活動奨励金(強化指定団体・全国大会出場団体等を重点的に支援)
⑨卒業記念費	220,000	0	220,000	『卒業を祝う会』開催経費
⑩慶弔費	100,000	20,000	80,000	会員・学生の慶弔費
⑪福利厚生費	2,500,000	2,585,000	△85,000	・学生生活の環境を充実させるための経費 ・ 防災用品および備蓄品等の経費 ・ 革製チェーン/パスケース代
⑫雑費	120,000	65,890	54,110	銀行振込手数料
⑬予備費	10,047,859	0	10,047,859	硬式野球部 ・ 女子競走部等の全国大会出場に伴う新聞広告代他
次年度繰越金	0	14,038,226	△14,038,226	
1 普通預金	0	9,038,226	△9,038,226	
2 定期預金	0	5,000,000	△5,000,000	次年度繰越金の一部を定期預金とする。※R4.11.29
合 計	26,000,859	25,910,649	90,210	

令和5年度 育友会役員紹介

役 職	氏 名	(学部学科・学年)
会長 兼 宮城県支部長	遠藤 宏昭 (えんどう ひろあき)	人間/人間教育・4年
副会長 兼 北海道・青森県支部長	杉沢 福巳 (すぎさわ ふくみ)	理工/情報電子工・2年
監査役	山本 美智子 (やまもと みちこ)	人間/人間教育・4年
監査役	木見尻 亜紀 (きみじり あき)	人間/人間教育・2年
幹 事	佐々木 知子 (ささきと もこ)	人間/人間文化・3年
幹 事	小池 佳子 (こいけ よしこ)	理工/生物科学・3年
幹 事	及川 浩彦 (おいかわ ひろひこ)	理工/生物科学・1年
幹 事	高松 輝賢 (たかまつ てるまさ)	理工/生物科学・1年
幹 事	櫻井 潤 (さくらい じゅん)	人間/人間教育・1年
北海道・青森県支部長	杉沢 福巳 (すぎさわ ふくみ)	理工/情報電子工・2年
秋田県支部長	芦原 清巳 (あしはら きよみ)	人間/人間文化・4年
岩手県支部長	小原 美智子 (おばら みちこ)	経営/経営・4年
山形県支部長	佐藤 直子 (さとう なおこ)	理工/食環境・4年
宮城県支部長	遠藤 宏昭 (えんどう ひろあき)	人間/人間教育・4年
福島県支部長	石田 絢子 (いしだ じゅんこ)	人間/人間教育・4年
関東支部長	新倉 修吾 (にいくら しゅうご)	理工/生物科学・1年
九州・沖縄支部長	荒牧 幸成 (あらかき こうせい)	経営/経営・1年
相談役	藤原 悟 (ふじはら さとる)	経営/経営・H27卒



計画 PROJECT

令和5年度 育友会活動計画

Business Plan

令和5年度 事業計画について 新型コロナウイルス感染症への必要対応を講じながら、今年度の事業は以下のとおりとします。

1 育友会員との連絡強化と育友会広報活動

- 1 会員ご子女の「修学状況通知書(成績)」、「履歴届」の送付に係る郵送料(4月末日発送分)を支出した。
- 2 大学の概要や育友会の活動等を広く広報するため、会報「いくゆう」(第30号)を発行する。
- 3 学校法人専修大学が発行し、本学を含む2大学の活動状況を伝える新聞「ニュース専修」を毎月送付する。(年11回)
- 4 「育友会ホームページ」にて各種行事等の案内や情報提供を継続して行う。

2 会議の開催

育友会の円滑な運営を行うため次の会議を開催する。

- 1 定期総会 令和5年 5月28日(日)
- 2 役員・幹事・支部長会 令和5年10月 8日(日)【石鳥祭】
令和6年 3月20日(水)【学位記授与式】

3 育友会支部懇談会の開催

支部懇談会を8会場で開催する。

開催日	開催地	会場
5月28日(日)	宮城(石巻)	石巻専修大学
6月11日(日)	岩手(北上)	プランニューキタカミ
6月18日(日)	山形	山形国際ホテル
6月25日(日)	宮城(仙台)	TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口
7月 2日(日)	青森	ホテル JAL シティ青森
7月 9日(日)	秋田	ANA クラウンプラザホテル秋田
7月16日(日)	福島	ホテル福島グリーンパレス
7月16日(日)	東京	専修大学神田校舎

4 大学祭への参加

育友会の企画として大学祭に参加する。大学祭への参加は、育友会の活動を来場者に広く周知するとともに、育友会員同士の交流を促すことを目的に実施する。

企画の実施が可能な場合「餅つき体験と餅の振る舞い」

※企画の実施ができない場合は、石鳥祭実行委員会の要望に沿った支援を行う。

5 学生への助成

3年次生が就職活動を開始するために必要となる就職活動用グッズを配付する。

6 学生に対する援助

- 1 サークル活動に対する援助を行う。特に全国大会への出場等で特別な支出が必要となった際(硬式野球部、女子競走部、弓道部等)には手厚く支援する。
- 2 学生会主催行事があった場合には援助を行う。

7 卒業記念行事

大学及び同窓会と提携して、令和6年3月20日(水)学位記授与式挙行後、「卒業を祝う会」を実施する。

8 福利厚生費の活用

- 1 学生の安全と安心につながる防災用品及び備品等を購入するため、この経費を大学に寄付する。
- 2 学生食堂南側に設置する屋外ベンチが、座面のひび割れにより、一部破損しているため、購入して寄贈する。

9 活動強化事項

- 1 支部懇談会場の内容を充実させ、会員にとって有意義な機会となるよう以下の企画を実施する。
 - ・学長及び理工・経営・人間学部長講話
 - ・卒業生による就職活動体験談
 - ・就職情報会社講話
 - ・専修大学キャリア形成支援課職員による講話
 - ・“昼食”をとりながら会員相互及び教員との懇談
 - ・記念品の配付
 - ・映像「学長挨拶等」を制作し、石巻会場以外で上映する
- 2 支部ごとに会合等を開催する場合には地方支部交付金を支給し、経費の補助を行う。

以上

令和5年度 育友会収支予算書

[自]令和5年4月1日 [至]令和6年3月31日

● 収入の部

単位：円

科目	4年度予算額(A)	3年度予算額(B)	対前年度増・減(A)-(B)	備考
①会費	13,300,000	14,040,000	△740,000	会費@10,000×1,330名
②雑収入	1,000	1,000	0	・預金利息
収入計	13,301,000	14,041,000	△740,000	
前年度繰越金	14,038,226	11,959,862	2,078,364	
合計	27,339,226	26,000,862	1,338,364	

● 支出の部

単位：円

科目	4年度予算額(A)	3年度予算額(B)	対前年度増・減(A)-(B)	備考
①会議費	113,000	113,000	0	
1 総会費	50,000	50,000	0	定期総会開催費
2 役員会費	60,000	60,000	0	・常任役員・幹事・支部長会 開催経費
3 その他の会合費	3,000	3,000	0	大学関係者との会合開催経費
②通信費	1,920,000	1,900,000	20,000	
1 会報送付費	110,000	100,000	10,000	「いくゆう」発送費
2 ニュース専修送付費	1,110,000	1,100,000	10,000	発送費(年11回)
3 その他の通信費	700,000	700,000	0	・育友会案内送付費、学業成績送付費、事務連絡送付費 ・はがき代、切手代
③事務費	1,860,000	1,860,000	0	
1 旅費交通費	1,010,000	1,010,000	0	常任役員・幹事・支部長会の旅費交通費
2 消耗品費	500,000	500,000	0	・事務用消耗品 ・公衆衛生用消耗品 ・大学祭参加のための消耗品
3 事務委託費	350,000	350,000	0	・ニュース専修送付手数料 ・「いくゆう」 発送委託料
④印刷費	900,000	900,000	0	・支部懇談会等資料印刷 ・封筒印刷 ・「いくゆう」制作・印刷
⑤支部懇談会費	2,800,000	2,800,000	0	・会場借用料、懇談会食費、担当者旅費交通費 ・外部講師講演代、卒業生等の講話謝礼金・支部懇談会打合せ費
⑥支部交付金	140,000	140,000	0	地方支部運営交付金(会合費等の補助)
⑦学生助成金	350,000	300,000	50,000	就職活動用グッズ等購入代
⑧学生援助費	5,000,000	5,000,000	0	サークル活動援助金(強化指定団体・全国大会出場団体等を重点的に支援)
⑨卒業記念費	220,000	220,000	0	「卒業を祝う会」開催経費
⑩慶弔費	100,000	100,000	0	会員・学生の慶弔費
⑪福利厚生費	2,600,000	2,500,000	100,000	・学生生活の環境を充実させるための経費 ・防災用品および備品等の経費 ・記念品代
⑫雑費	120,000	120,000	0	銀行振込手数料
⑬予備費	11,216,226	10,047,859	1,168,367	硬式野球部・女子競走部等の全国大会出場に伴う新聞広告代他
合計	27,339,226	26,000,859	1,338,367	

石巻専修大学 育友会会則

平成3年4月1日 制定

■ 名称

第1条 この会は、石巻専修大学育友会(以下「本会」という。)と称する。

■ 目的

第2条 本会は、石巻専修大学(以下「大学」という。)の方針に則り、大学と学生の家庭との連絡を緊密にして大学の発展向上に寄与し併せて会員相互の親睦を図ることを目的とする。

■ 本部及び支部

第3条 本会は、本部を大学内に置き、全国の必要な地区に支部を置く。
2 支部細則は、別に定める。

■ 会員

第4条 本会は、次の会員をもって組織する。

- 1 正会員 大学の学部在籍する全学生の父母又はこれに代わる保護者
- 2 特別会員 大学に勤務する教職員

■ 事業

第5条 本会は、次の事業を行う。

- 1 学生の学業・徳操並びに生活に関し家庭との連絡を図る事項
- 2 学生の厚生・保健並びに医療の助成に関する事項
- 3 学生の研究助成並びに経済援助に関する事項
- 4 教職員と父母との懇談会を開催する事項
- 5 その他本会の目的を達成するために必要な事業

■ 運営経費

第6条 本会の運営経費は、会費及び寄付金をもって充てる。

■ 会費及び寄付金

第7条 正会員は、会費として別に定める金額を、毎年度の始めに納入しなければならない。
2 寄付金がある場合は、随時本会へ納入する。

■ 役員

第8条 本会に、役員として会長1名、副会長4名以内、監査役2名及び幹事若干名と各支部に支部長を置く。

■ 役員を選出

第9条 会長、副会長及び監査役は、幹事会において選出し、総会において報告するものとする。
2 幹事は、会員の中から会長がこれを委嘱する。
3 支部長は、各支部において選出し、会長がこれを委嘱する。

■ 役員任期

第10条 本部役員任期は、4月1日から翌年3月31日までの1年とする。ただし、再任を妨げない。

■ 役員職務

第11条 会長は、本会を代表し、会務を統括する。
2 会長が不在のとき、又は欠けたときは、副会長がその職務を代行する。
3 副会長は、会長を補佐する。
4 監査役は、会務及び会計を監査し、総会に報告する。
5 幹事は、会長の命を受け、必要に応じてこの会の業務を行う。
6 支部長は、各支部を掌握し、本部との連絡を緊密にする。

■ 会議の招集

第12条 本会に、総会、幹事会、常任役員会及び支部長会を置き、それぞれ会長が招集し、その議長となる。



■ 会議の構成及び開催

第13条 総会は、正会員と特別会員で構成し、定期総会と臨時総会を開催する。
(1) 定期総会は、年1回開催する。
(2) 臨時総会は、必要に応じて開催する。
2 幹事会は、常任役員会構成員及び幹事で構成し、必要に応じて開催する。
3 常任役員会は、会長、副会長、監査役及び育友会主任で構成し、必要に応じて開催する。
4 支部長会は、常任役員会構成員及び各支部長で構成し、定期に年1回開催する。

■ 会議の審議事項及び議決

第14条 総会は、予算、決算及び事業計画、その他重要事項を審議する。
2 幹事会は、総会提出議案、その他重要事項を審議する。
3 常任役員会は、総会並びに幹事会における決定事項を執行し予算案及び決算書類を作成し、その他重要事項を審議する。
4 支部長会は、地方懇談会の開催、その他重要事項を審議する。
5 第1項及び第2項の議決は、出席会員の過半数の同意によるものとする。

■ 名誉顧問、顧問及び相談役

第15条 本会に、名誉顧問、顧問及び相談役を置くことができる。

■ 育友会主任及び事務職員

第16条 本会に、大学より選任された育友会主任及び事務職員を置く。
2 育友会主任は、大学の教授若しくはこれに準ずる者とし、その任免権は学長に帰属する。
3 育友会主任は、大学選出の役員として常任役員会、幹事会、総会等に出席し、本会の運営に対して助言と指導を行う。
4 事務職員は、大学職員とし、その選任は学校法人専修大学理事長の所管とする。
5 事務職員は、本会の経理及び会務を管掌する。

■ 資産管理

第17条 本会の資産管理の責任は、会長及び常任役員会が負うものとする。

■ 会計年度

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

■ 会則の改廃

第19条 この会則の改廃は、総会の議決によらなければならない。

■ 附則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。
この会則は、平成7年7月22日から施行し、平成7年4月1日から適用する。

i 育友会とは

石巻専修大学の方針に則り、学生のご父母(保証人)の皆様を正会員とし、大学と家庭との連絡を密にして、学生のより良いキャンパスライフと大学の発展向上に寄与し、併せて会員相互の連携を図ることを目的として設置されているのが育友会です。大学内に本部を置き、会員の多い県に支部を設置し、様々な活動を行っています。

育友会は各支部の活動をサポートいたします

支部懇談会以外にも保証人同士のつながりを増やしたい、支部の活動を充実させたい、など育友会の活動に要望がございましたら、お近くの支部にご連絡ください。各支部と連携し、より良い体制づくりを進めてまいります。

ご連絡 石巻専修大学 育友会
TEL.0225-22-7743

学長メッセージ



皆様の声を活かした改革を進め、
学生生活での満足度の向上を
目指します。

石巻専修大学
学長 尾池 守

育友会のご家族の皆様と大学を結ぶ信頼の架け橋

育友会会員の皆様には日頃より石巻専修大学に対してご支援・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

育友会は学生諸君のご家族の皆様と大学とが緊密に連携を図るための組織です。育友会の活発な活動に基づいた本学へのご提言は、大学のこれからを考えるうえで、極めて重要なことと受け止めています。本学はご提言を踏まえて、学業や進路だけでなく、健康や住居等さまざまな観点から学生諸君を支援すべく具体的な改善を進めてまいります。

新型コロナウイルス感染症の「5類」への緩和を受けて、今年度の「支部懇談会」は、東北6県（宮城県は石巻と仙台）と東京都（専修大学）の8会場で展開し、昨年の1.5倍（延べ117名）の会員の皆様にお越しいただきました。支部懇談会におきましては、大学の様子を会員の皆様にお伝えするとともに、学業や就職の課題など、会員の皆様と教職員が個別に情報交換をさせていただきます。

昨年より通常開催となりました「2023 石鳳祭」では、盛大な「餅つき体験&餅の振る舞い」イベントを実施していただき誠にありがとうございました。お陰様で来場者も新型コロナ禍前に戻りつつあります。

「中長期ビジョン」に基づく教育改革

石巻専修大学は創立30周年を迎えた令和元年を改革元年とし、今後10年を見据えた「中長期ビジョン」に基づく教育改革を進めています。時代の変化と社会の要請を踏まえ、令和3年4月には経営学部情報マネジメント学科を新設し、令和4年4月には理工学部と人間学部の教育課程の改編を行い、社会知性で地域課題を解決しその成果を世界に発信する「地域に根差して世界に尖った大学」を目指しています。

また、学生一人ひとりの個性を尊重し、主体的に学生生活を送ることができるよう「学生保健支援センター」を設置しました。このセンターでは授業や課外活動、進路に関わること、また心身両面の健康や人間関係など、学生生活を送るうえで起こる様々な困りごとに対応しています。本学では今後も多くの皆様のご意見やご要望に応えながら、学びの質的向上はもちろん、より満足度の高い学生生活をバックアップしてまいります。

ご子女には5年後、10年後を見据えながら「これなら勝てる」「これこそ得意」というものを見つけ、社会に出ても生涯学び続けることができる人材に育ててほしいと願っております。ご子女が自分の夢の実現に向けて、大きな希望を胸に大学を巣立っていただけますよう、育友会の皆様のご支援、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

石巻専修大学中長期ビジョン（2020～2024年度）

- 1 社会の諸課題解決に活用できる知識・技能を修得した人材を育成する
- 2 教育研究活動を充実させる
- 3 学習の質を向上させる環境を整備する



石巻専修大学育友会広報誌

IKUYU

[いくゆう]
vol. 30
2023.12

発行者／石巻専修大学育友会 〒986-8580 宮城県石巻市南境新水戸1

育友会に関するご相談がございましたら遠慮なくご連絡ください。

TEL 0225-22-7743

FAX 0225-22-7710

E-mail ikuyu@isenshu-u.ac.jp



●ホームページではキャンパスの最新情報を発信しています。

<https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>